

寒地土木研究所一般公開 ～さあ出発だ！技術の未来へ～

寒地技術推進室

去る7月8日(金)、9日(土)の両日、「さあ出発だ！技術の未来へ」をキャッチフレーズに、寒地土木研究所一般公開を開催しました。例年、7月の「国土交通Day」に合わせて開催している一般公開ですが、令和2年・3年と新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となっており、本年は3年ぶりの開催となりました。

当日は晴天にも恵まれ、感染拡大防止の観点から、事前予約制や入場制限を設けるなどの対策を実施した上での開催でしたが、近隣にある中の島小学校の児童らを含め、2日間で854人の方にご来場いただきました。

普段、土木技術に触れる機会が少ない一般の方々にも当所の研究内容をわかりやすく伝えるため、各研究チームで様々な創意工夫を凝らし、体験コーナー等の設置や実験装置の紹介を行いました。なかでも、寒冷沿岸域チームが行った大型平面水槽による波と防波堤の実験、寒地地盤チームが行った液状化の模型実験、耐寒材料チームの「セメントであそぼう、つくろう」と称した参加者自らがセメントでペン立てなどを作成するコーナー、防災地質チームの「石の名探偵になろう」と称した多くの石の中から石英を探し出す体験型のコーナー等には、多くの家族連れ来場者が集まりました。

ご来場の皆様にはアンケートへの協力をお願いしましたが、「色々な分野で素人にも非常にわかりやすい解説を聞いておもしろかった」・「普段見ることのできない研究内容を知ることができました」と、好意的な意見がありました。一方で「コロナ対策で仕方ないのかもしれないが、例年よりやや規模が縮小されていたと思う」など、体験型を縮小せざるを得なかったことを残念と思う意見も頂きました。

3年ぶりに一般公開を開催し多くの方々にご来場いただき、私たちの研究成果の一部をご紹介することができました。一般公開は年1回ですが、技術相談や施設見学などは随時受け付けております。ご連絡をいただけますと幸いです。

また、今回アンケートで寄せられた多くの貴重なご意見・ご要望は来年の一般公開や研究所の活動に反映させていただきたいと思っております。

今年は入場制限など設けさせていただいたなか、多くのご来場に感謝いたします。（文責：小松 陽一）



寒冷沿岸域チーム：大型平面水槽実験の様子



耐寒材料チーム：セメントであそぼう つくろう



多くの皆様にご来場いただきました